

パブコメ集計結果(エネ ITS)

1. 総数: 21件

2. 賛否について:

○賛成:	21件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	0件
○反対:	0件
計	20件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・本プロジェクトは、自動車交通における省エネルギー化の推進、CO₂ 排出量の削減のみならず、安全性の向上、交通円滑化による経済活動の活性化、国民生活の質の向上に向けた研究開発であるため、是非、実施を継続するべく優先順位の高いプロジェクトであるので、推進するべきである。また、研究開発の推進は、日本の自動車関連産業のさらなる強化やこの分野の研究者・技術者の育成にも貢献するため、我が国の存亡がかかった現在の状況を考えると、この観点からも推進するべきであり、国費によるプロジェクトとして十分な資格があるものである。
- ・エネルギーITS 推進事業は、自動車における CO₂ 排出量の削減と同時に交通の省エネルギー化の推進を図り、交通物流における環境問題の改善に取り組んだ研究開発であり、ここで開発される技術は世界的にも先進的で、地球規模の CO₂ 削減に貢献するものであり、国費によるプロジェクトとして十分な資格があるものである。
- ・「温室効果ガスを 2020 年までに 1990 年比で 25%削減する」という目標の達成のため、国内の CO₂ 発生の約2割を占める自動車分野からの排出を減らす必要があり、ITS 施策導入による自動車交通の改善は有効な手段であると考え。2020 年までに温室効果ガスを削減するには、早急に ITS 施策の定量的な効果評価方法を確立して、有効と評価された ITS 施策を導入する必要がある。効果評価方法の確立という事業は、開発費用の回収ができないため、民間による事業化が困難な技術開発であり、国家事業として実施すべきである。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの なし

③反対 なし